

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 地図 】

書名	新編 新しい社会 地図 (東京書籍)
項目	
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	<p>○社会科の基礎的・基本的な知識や概念を確実に習得できるように、社会の有り様や課題を把握するための地図や図表を豊富に掲載している。</p> <p>○思考力・判断力・表現力などを身に付けられるように、資料の読図のポイントやキャラクターの吹き出しにより資料の理解を進め考察を深められるようにしている。</p> <p>○主体的に社会に参画する意識や態度を養うように、今日的な課題である環境問題、防災、安全に係わる資料を豊富に掲載している。</p>
特 色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○冒頭に「この地図の地図記号」「この地図の活用方法」を設け、具体的な活用事例を示し、地図帳の使い方を確実に身に付けるようにしている。</p> <p>○世界の各州・日本の各地方の基本資料に、自然・産業・人口などの主題図を設け、基礎的・基本的な知識が定着できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○関連資料を示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連して活用するように促している。</p> <p>○ヨーロッパ・アフリカ、ユーラシア・オーストラリア・北極圏など、様々な図取りの一般図を掲載して、学習効果を高めようとしている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○世界・日本の諸地域の学習テーマ、追究テーマに沿った学習に対応できる資料を取り上げ、自らテーマに沿った考察や理解を深められるようにしている。</p> <p>○世界と日本の資源・エネルギー①において、生徒の興味・関心が高い「携帯に使われている主なレアメタル」を写真で示し、資料図とともに考察を深めるようにしている。</p> <p><地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫></p> <p>○キャラクター(先生2人・生徒4人)の吹き出しを入れ、資料の読図のポイントや考察の視点を示している。</p> <p>○今日的な課題である自然災害や環境問題についての資料を豊富に掲載し、一般図とテーマ図と関連づけ、地理的な見方や考え方の基礎を培うようにしている。</p> <p><我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫></p> <p>○巻末「日本の周辺」に東西南北端や排他的経済水域を示し、我が国の領土について理解ができるようにしている。あわせて近隣諸国との領土問題をめぐる問題を抱える地域について写真付きで掲載している。</p>
資 料	<p>○巻末にテーマごとに資料を検索できる「資料索引」を設け、学習内容に適した資料を探しやすいように工夫している。</p> <p>○大きめの写真を入れ視覚的な面から、地域の特色をとらえさせようとしている。</p>
表記・表現	<p>○ユニバーサルデザインの視点に立ち、落ち着いた色彩等に配慮している。世界の気候帯・気候区分の色彩は、同者の教科書と同一の色分けとしており、どの生徒にも混乱なく学習を進めるよう配慮している。</p> <p>○基本図は等高段彩で表現し、土地の起伏感がでるようにしている。</p> <p>○インデックスに世界と日本の色分けに加え、世界6州・日本7州を色分けしている。</p>
総 括	<p>紙面はA B版である。興味・関心を高めるように、世界を中心に写真を豊富に掲載するとともに、日本とつながりの強い地域の大鳥瞰図を掲載し、地域をイメージしやすくしている。キャラクターの吹き出しに読図や考察の視点を適切に示し、教科書と連携を図った学習の積み重ねにより、地理的な見方や考え方の基礎、思考力・判断力・表現力などを図っている。本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、冒頭に3ページにわたり地図帳の使い方を示し、円滑な社会科学習のスタートができるようにしている。</p>

(別紙様式)

第12採択地区教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告

種目(教科等)【 地図 】

書名 項目	中学校社会科地図 (帝国書院)
教育基本法、学校教育法の下 の学習指導要領に おける教科の目 標とのかかわり	○自然、産業、歴史・文化の視点で構成した資料図など多様な資料を配置し、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解するようになっている。 ○「地図を見る目」「やってみよう」を示して、地理的な見方や考え方の基礎を培うようにしている。 ○地域ごとに特徴的な事例を示す資料図を取り上げることで、環境条件や防災の視点など主体的に社会に参画する意識や態度を養うようにしている。
特 色 内 容	<基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫> ○巻頭の「この地図の使い方」「地域の特徴をとらえるポイント」に「国土地理院の地形図を読み取ろう」を加え、読図の視点や地理的特色の追究の仕方を示して、技能を身に付けるように工夫している。 ○地理的分野の基本的な図で使用頻度の高い世界の国々、自然(地形や気候)の資料図を巻頭にまとめている。 <思考力、判断力、表現力等を育成する工夫> ○「ながめてみよう」を設け、自然・産業・くらしの特色についてイラストを盛り込んでまとめ、それらを関連付けて地域的特色をとらえるようにしている。 ○今日的な課題である「日本の災害と防災」に関するページにおいて、地形図と防災マップの読み取りをとおして災害から身を守る方法を考えさせるようにしている。また、「環境」と「日本との結びつき」をテーマとした図には特別な囲みとロゴマークを付して目立つようにしている。 <主体的に学習に取り組む態度を養う工夫> ○基本図や資料図に学習課題やその解決方法となる「やってみよう」示し、その中には地図上で作業や言語活動を促すなど主体的な学習への工夫をしている。 <地理的な見方や考え方の基礎を培う工夫> ○テーマ別に資料図やグラフなどをまとめ、「地図を見る目」を示して地理的な見方や考え方の基礎を培うようにしている。 <我が国の国土及び世界の諸地域に関する地理的認識を養う工夫> ○日本列島の基本図では北方領土、竹島、尖閣諸島の写真を、「日本の位置とまわりの国々」では東西南北端を含めた日本の領土や、領土・領海・接続水域などの概念がとらえられる模式図、写真を掲載し、日本固有の領土が理解できるようにしている。
資 料	○衛星画像のほか、日本とかかわりの深い中国・ヨーロッパ・アメリカでは大きな鳥瞰図を設け、地域的特色を視覚的にとらえるようにしている。 ○統計資料は巻末にまとめて掲載し、地方別、項目別に色分けするとともに、上位の国や県の数値を赤字で示している。
表 記 ・ 表 現	○基本図で示した地域を位置図で示している。また、世界の基本図には同縮尺の日本を示し、世界と日本を比較するようにしている。 ○基本図は等高段彩で表現し、土地の起伏感がでるようにしている。
総 括	A B版である。興味・関心をもって地図帳を活用するように、鳥瞰図や衛星画像を豊富に掲載し、地域をイメージしやすくしていること。「ながめてみよう」で大観させ、学習課題となる「地図を見る目」「やってみよう」を随所に入れ、その活用を繰り返すことで地図帳を使いこなし、地理的な見方や考え方の基礎、思考力・判断力・表現力など育成を図っている。紙面は本採択区の各市が取り組んでいる「小・中連携または一貫教育、円滑な小・中の接続」の観点から見ると、冒頭に5ページにわたり地図の使い方を示し、円滑な社会科学習のスタートができるようにしている。